**序論**

リュウジの顔は怖いの顔（シニカルな表情）と声の高さ（怒っている人のような）のために友人に恐れられており、タイガは激しい性質（簡単に怒られて怒っている）と失礼（打ちやすい）のために友人に恐れられていまる。龍司と大河の出会い後、龍二は大河の友達が好きで、大河と龍二は大河の友達が好きだったことがわかりました。知らず知らずのうちに、二人の関係は日々近づいており、同級生と誤解されていまた。家族のバックグラウンドがほとんど同じであるため、リュウジは常にタイガのそばにいて、サポートすることを約束した。彼らがいなければ、彼らの関係が近づいて恋に落ちていることを知らないが、友情の葛藤は彼らの本当の感情を表現することを妨げる。

フロムが述べたように、私たちは生物学的本能の強さによって影響を受け、形作られるだけではない、と言ったエリック・フロムによって表現された社会心理学的アプローチを使用する。したがって、Frommは、人格は社会的および文化的側面の影響を受けると主張する。

Frommは、私たちが経験する個人的な対立は、私たちが一緒に構築するコミュニティから来ると考えている。フロムはまた、私たちのキャラクターを開発し、私たち自身の問題や社会が生み出した問題を解決する能力について楽観的である。私たちは、社会における人格の決定要因として、意図せずに社会的影響の影響を受ける。フロムは精神分析家、哲学者、歴史家、ヒューマニストである。フロムは精神分析の範囲を超えて多くのデータを収集し、人間性と社会の間の相互作用の独自の理解を提供する。これは映画「トラドラ」で見ることができる。

**本論**

他人の人格と行動において、静かであるか開かれていない人を作り、社交的にすることで、誰かが他人に親しんでいるか知らないことを知ることができます。一例として、大河と竜二は最初は意図せずに会い、常に意見の相違がありましたが、彼らは両方のパートナーを獲得したいという目標を持っていました。北村。普段は感情をコントロールできないタイガの行動の多くの変化は、友人の前でより良くなります。タイガはまた、彼の古い自己と比較して、彼の友人についてより心配になりました。互いに支え合った龍二と大河の存在は、彼らの個性と行動を以前よりも良くしました。

社会環境は、人の人格や行動にも影響を与える可能性があります。以前は、彼を不快にする環境に住んでいたタイガは、タイガの意的な性格を形成し、管理することができません。しかし、彼の新しい環境では、彼の周りの多くの人が彼をもっと気にしているので、タイガは良くなっています。

**結論**

大河が龍次に対して示している日常的な態度や習慣、大河が日々の態度を隠していないというような行動は、龍司に大河の良い点と悪い点を受け入れさせることができます。龍二と大河の近所は、日常生活での態度に影響を与えます。龍寺周辺の環境も大河に影響を与えます。行動はまた、龍二と大河を日常生活の中で快適に感じることができます。関係や個人、グループ、文化への愛着における個々の経験と行動は互いに関連し、影響を与え合うので、龍二と大河の友人は徐々に

龍二と大河に自分自身を開放し、自分自身をより良く快適にする彼の日常。リュウジとタイガの名前を姓ではなくニックネームで呼ぶことで、リュウジとタイガは彼の周りの友人に親しみやすくなります。また、一緒に行ったり食事をしたりするときなど、一緒に冗談を言うこともできます。そのような行動は、彼らの態度を毎日互いに伝えることによってもできます。リュウジとタイガは彼らの習慣について話し、逆に彼らの友人も一歩一歩近づき、彼らが家の外で新しい家族を感じ、彼らが社会環境でより快適になったように彼らの習慣を話しました。

竜司と大河は、お互いの個人的な問題について意見を交換することもできます。したがって、彼らは一緒にそれを解決することができます。

社会環境にいるように自分自身を受け入れるかどうかにかかわらず、すべての個人から戻ってきます。

## DAFTAR ISI

**HALAMAN JUDUL ……...…...i**

**HALAMAN PENGESAHAN ……...ii**

**HALAMAN PERNYATAAN ORISINNALITAS ……iii**

**PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI ……iv**

**KATA PENGANTAR……v**

**DAFTAR ISI……vii**

**BAB I**

**PENDAHULUAN……...1**

1.1 Latar Belakang……...1

1.2 Pembatasan Masalah……..2

1.3 Tujuan Masalah……..3

1.4 Metode dan Pendekatan……3

**BAB II PSIKOLOGI KEPRIBADIAN ERICH FROMM……4**

2.1 Psikologi kepribadian……**4**

2.2 Psikologi Kepribadian Erich Fromm……**5**

2.3 Asumsi dasar Erich Fromm……**5**

2.4 Kebutuhan Manusia menurut Fromm……**6**

**BAB III ANALISIS PERUBAHAN KARAKTER TAIGA DAN RYUUJI …**

3.1 Tingkah Laku……**12**

3.2 Lingkungan……**32**

3.3 Prilaku……**33**

**BAB IV KESIMPULAN……..50**

**DAFTAR PUSTAKA……...53**

**SINOPSIS…….……55**

**RIWAYAT HIDUP PENULIS……58**